

【営気と衛気】

	営気	衛気
役割	栄養と潤いの供給。 血の生成	防御（免疫） 体温調節
巡行場所	体内（経絡・臓腑・血液）	体表（皮膚・筋肉）
性質	陰 血液と密接	陽 温める作用が強い
イメージ	深い所に存在	浅い所に存在
言葉の意味	営＝栄養の事	衛＝防衛の事

【所生病と是動病】

	所生病（しょせいびょう）	是動病（ぜどうびょう）
場所	臓腑の機能異常	経絡（気の流れ）の異常
性質	血や陰の病 陰性	気の病 陽性
症状	全身症状 臓腑の機能失調症	経絡沿いの痛み・痺れ・痙攣 など
意味	所（ところ）から生じるの意味	是（これ）に動くの意味



「営気の異常が所生病を生む」



「衛気の異常が是動病を生む」